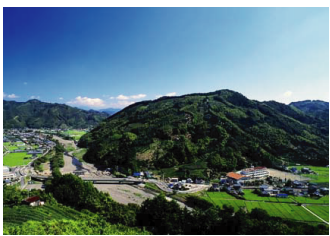


ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

FUJIEDA SOUTH ROTARY CLUB

藤枝南ロータリークラブ会報

例 会：毎週金曜日 小杉苑 藤枝市青木2-35-30 TEL：054-641-3321
 事務局：藤枝市青木1-11-10 TEL：054-647-2300 FAX：054-647-2040
 E-mail:club1991@fujieda-rotary.org



<http://www.fujieda-rotary.org>

会長：早川 清人 副会長：伊藤 彰彦 幹事：松浦 正秋 副幹事：渡邊 芳隆

第1057回

- ソング われら日本のロータリアンの歌・旅愁
- ソングリーダー 杉浦 聡君

会長報告 早川 清人君

皆さん、こんにちは
 本日は、岩堀アシスタントガバナー並びに長谷川事務局次長をお迎えして、「社会奉仕」をテーマにクラブ協議会を開催致します。

先週の例会に資料として 1908-1909 年度 R I 第 2620 地区職業奉仕委員長角谷浩二氏が書かれた「職業奉仕とは何か(ロータリーにおける職業奉仕の役割と本質)」を皆様に配布させて頂きました。お目を通し頂きましたでしょうか。本日の論議を進めるにあたり、大いに参考になる資料であったかと思えます。

私は年度当初のクラブ運営方針において、2013～2014 年度 ロンD・バートン R I 会長及び R I 第 2620 地区志田洪顕ガバナーがともに示されたテーマ「ロータリーを実践し、みんなに豊かな人生を」を紹介するとともに、R I 会長が、私たちがロータリークラブの会員であるか、又はロータリアンとなるのかの選択を日々行っているのだと指摘されていることを申し上げました。そして、ロータリアンとして世界を見て、そして、その世界における自分の役割を見ることが重要であると説かれ、ロータリーを真に実践し、ロータリーの奉仕と価値観を日々生かす決意をすれば、自分が如何に素晴らしい影響をもたらすことができるかが見えてくるものであることを示唆されています。そのうえで、R I がどのような方向を指し示しているのか、私たちの地域社会がどのような職業奉仕活動を必要としているのか、そして何をしたら良いのかを常に意識し、実践に繋げることを求めています。

私たち藤枝南ロータリークラブは、R I 会長のこの発言を受け、職業奉仕を通じて地域社会に対し十全に応えていく団体となるよう活動するこ

とを改めて宣言させて頂いたところです。以前の例会で申し上げましたが、ロータリアンは、職業奉仕を基調として組織された団体です。個々の職業をとおした社会貢献こそが求められるものであり、だからこそそれぞれの職種におけるリーダー的存在の方々を構成員としているのです。これがロータリークラブの根本理念たる「I serve」です。ちなみに、これに対峙する考え方として「We serve」があります。これは、みんな(つまり団体)で社会奉仕をしようというものです。

我が藤枝南ロータリークラブは、この「I serve」を忠実に実践しているクラブであると自負しております。皆さん、仕事をとおして地域社会に貢献して下さい。皆さんのその積み重ねがロータリークラブの理念に繋がりますし、結果、社会への広報ともなるのです。

本日は、この理念を会員相互に分ち合うために、ロータリークラブの意義、特に「奉仕の在り方」を会員皆さんと共に語り合い自覚しあう場として設営させて頂きました。

より良い藤枝南ロータリークラブ醸成のため、皆さんの活発な論議を期待しております。よろしくお願い致します。

幹事報告 松浦 正秋君

- 2620地区より
- 10月のロータリーレートのお知らせが届いております。1\$ = 100円です。

出席報告 寺田 章君

本日のホームクラブ出席者	前回の補正出席者
33 / 45 73.33%	35 / 45 77.77%

(1)欠席者 (事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○池谷君 ○漆畑君 ○小池君 ○多々良君
○樽井君 ○富澤静君 ○村松君 ○望月君
○渡辺君 ○渡邊芳君 ○藁品君 川口君

(2)メイクアップ者

村松 章隆君 (藤枝)

■ ビジター

国際ロータリー第 2620 地区静岡第 5 分区

アシスタントガバナー 岩堀 英治君

アシスタントガバナー事務次長 長谷川秀男君

井上 勝彦君 (島田 R C)



スマイルBOX 寺田 章君

・入会してから1年が過ぎました。たくさんのリーダーの方と話をさせていただいたり、いろいろな経験をさせていただいており感謝しております。2年目を迎えますが、気を引き締め、新たな気持ちで取り組んでまいります。今後ともよろしく願いいたします。 寺田 章君

スマイル累計額 176,000円

クラブ協議会

1班 杉浦 聡君

I serve or We serve か?

- ・法人は利益を追求する事が当たり前である
- ・奉仕(無償)先行はどうか？

ロータリアン同士が仕事を共有しあってお互いの利益を回せば、結果互いに対して奉仕が成り立つのでは？と考え、利益を独占するのではなく、共有して互いに発展していくことが、奉仕へつながると言える。

2班 内藤 浩光君

今後のクラブ奉仕を考える

荒っぽく稼いで、荒っぽく使う必要がある。世の中にお金を回すことが、奉仕へつながる

3班 中山 恵喜君

「職業奉仕」について

私達のグループではお三方からのお話でグループ討議が進みました。

高杉さんから「serve という言葉について深く考察することで本質が理解できる」とのお話がありました。池ヶ谷さんから「世の中の原資は事業主によってもたらされ、それが社会のベースになっている」また「四つのテストを実践している事業は理想の形である」というお話がありました。渡邊博文さんからは「公平と平等は大きく意味の違うことであり、物事を公平に判断していくこと常に求められる」とのお話を頂きました。

世の中に必要とされる事業やサービスを永続的に行うこと。高い職業倫理感をも持ち合わせ、顧客や従業員ひいては地域社会へ有形・無形の貢献をしていくことと推察されました。

4班 森竹 正晃君

I serve or We serve か?

会社の利益を上げて、税金を納める事も奉仕ととらえる事ができる。その為には会社を存続・発展させる努力が必要であり、ロータリーでの各業種のトップとの交流はたいへん有効である。職業分類表をみるとまだまだ空欄があるようなので、より多くの業種の方と交流を図るためにも、クラブの発展のためにも、新会員を勧誘し空欄を埋めていきたいと考える。

5班 鈴木 健夫君

職業奉仕とは何か

まずは、何はともあれ「自分の本業を一生懸命やる」という事だと考えます。

そして仕事をして利益を上げて納税もして、社会に貢献をする。

売れてない店は、社会に必要とされていない店だと言う方がいました。厳しい言葉でした。売れている店(利益をあげている店)は、お客様に必要とされて喜んでいただいている。それこそが職業奉仕ではないでしょうか。

「好き好き至上主義」という言葉を聞いたことがあります。特に今の若者は、一生懸命やっているのは、それが好きだからと思い込んでいます。好きなことをやるのが自己実現であり幸せなことだというメッセージが巷に溢れています。苦勞して就活して就職しても2・3年で、これは私のやりたかったことではないと転職する人が増えていると聞きます。仕事をすると金をもらっ

て食べていくことです。先方の好きなことをやるからこそ金をくれるわけで、こちらの好きなことをやって金をもらおうとは少々虫がよすぎます。農業や林業も同様で、自然の「好きなこと」をするからこそ、恵みがもらえるのです。

すべてを好き嫌いで決めるやり方を「好き好き至上主義」と呼ぶそうです。これの問題点は、自分の好きなものとしが付き合わなくなりがちなことです。人であれ自然であれ仕事であれ、存在は必ず自分にとって好きな面と嫌いな面とをもっています。好きと思って結婚したら嫌いな面が見えてきて即離婚というのでは、結婚など成り立ちません。子育てもできません。自然もやはりそうで、海は恵みもくれるが津波もきます。

自分の好きなものとだけしか付き合わないような生き方を続けていけば、視野の狭い、ものごとと深く付き合うことのない、浅はかなひとりよがりの人間になってしまいます。

自分の好きなことだけでなく、どうしたらお客様に喜んでいただけるかをこれからも日々考えていきます。まずは、何はともあれ「自分の本業を一生懸命やる」という事だと考えます。



今週の一言

早川 清人君

【私の欲しいもの】

私の欲しいものは、太い肝っ玉です。

あらゆる判断を迫られた場面において、気の弱さから自らの決断に確信が持てず、不安を払拭できなかったことが多くあります。

当然に、不安に駆られての判断は、良い結果に結び付く訳がありません。

自身を持った決断を積み重ねること、これが、私のテーマです。

■ 本日の食事



例会プログラム

例会日	クラブ行事	摘要
10/4(金) 第 1058 回	会員卓話	理事会 役員選考委員会設置
10/11(金) 第 1059 回	ガバナー 公式訪問	(クラブ研修 リーダーセミナー)
10/18(金) 第 1060 回	会員卓話	私の職業 お役立ち情報
10/25(金) 第 1061 回	職業奉仕委員 会担当例会	

(担当 / 内山君)